

国際ロータリー第2560地区  
ガバナーテーマ

「基本を学び、地域と共に」

高田ロータリー今年の  
スローガン

「ロータリーを識り、  
奉仕を实践し友情を深めよう」



人類に  
奉仕する  
ロータリー

2016～2017年度

国際ロータリー会長 ジョンF.ジャーム  
2560地区ガバナー 田中 政春  
高田ロータリー会長 本山 秀樹  
幹事 中田 正

事務局：新潟県上越市西城町2-10-25 大島ビル201号  
TEL (025) 526-3288 FAX (025) 526-3534  
メールアドレス：takadarc@joetsu.ne.jp  
例会場：デュオ・セレッソ TEL (025) 526-3111

クラブ広報・会報・雑誌委員  
加藤 卓也 伴 長門 斉藤 光雄 佐藤 芳徳

## 第4回例会 ■ 7月22日(金)

No.4

### 歓迎



2016-2017年度  
国際ロータリー第2560地区  
田中政春ガバナー  
7月29日公式訪問

### 会長挨拶 ● 本山 秀樹



皆さんこんにちはー

さて、国際ロータリークラブで3年に1回開催される規定審議会が開催され、ロータリー史に残る多くの重要な決定がなされました。3点ほど紹介します。

1点目は、クラブ会員の入会金を廃止する件が採択されました。これに対し、当クラブでは、ロータリー活動費という名称に改め徴収したいと思います。

2点目は、会員身分に柔軟性を与えるということです。RI定款から会員資格6項目を削除し、「職業上及び地域社会で良い評判を受けており、地域社会及び世界において奉仕する意欲のある人」という簡潔な会員資格に変更されました。

3点目は、RIの財務状況の厳しさから、各クラブが負担する人頭分担金を2017-2018年度から3

年にわたって毎年4ドルずつ増額することです。

今日は、大暑です。一年で一番暑い時期です。私は、今日の夕方自宅で「打ち水」でもしようかと思っています。

今日の卓話は、上越パーソナル・サポート・センター阿部葉子さんから、お話を頂きます。

### 出席報告

出席率 100%

### メイクアップ

高坂光一君（7/16・17 IA年次大会・7/20新井RC）

羽深耕時君・中田 正君（7/23防減災セミナー）

高坂光一君・飯塚宏佳君（7/24高田RAC上越まつりフリーマーケット）

### 委員会報告

出席・ニコニコBOX委員会

佐藤信明君——法嗣良信の結婚式で大変お世話になりました。

三井慶昭君——高田公園のお堀の蓮が満開です。

小池 豊君——入会に際して、よろしくお願ひいたします。

親睦委員会

8/5 納涼会のご案内

青少年奉仕委員会

7/24 高田 RAC 上越まつりフリーマーケット  
のご案内

## 会員インフォメーション

高橋孫左衛門君——7/15～ お菓子と新潟 の  
ご案内

## 幹事報告

配布物：週報No.3、お菓子と新潟パンフ

回覧物：高田駐屯地会報「妙高3号」

報告：7/29 ガバナー公式訪問

山田 守さん8/5より再入会

## 8月例会プログラム

回	日	講演者：演題	会場
6	8月5日	納涼会	宇喜世
-	8月12日	特定休会日	-
7	8月19日	卓話 越後春日山ロータリークラブ 会員の方より	デュオ・セレッソ
8	8月26日	卓話 陸上自衛隊第2普通科連隊長 1等陸佐 二宮 充史 様	デュオ・セレッソ

## 卓話

### ふるさと上越で誰もが生き生きと暮らすために

### ～生活困窮者支援事業について～



上越パーソナル・サポート・センター 就労支援員 **阿部 葉子 様**

上越パーソナル・サポート・センターは、市民の生活全般の相談を受け付ける相談窓口です。

当センター事業の根幹となる「生活困窮者支援事業」は、リーマンショック後の日本経済の混乱や失業者の急増をきっかけに、平成21年内閣府の貧困・困窮者対策として始まりました。内閣府の3年間のモデルプロジェクト、厚労省の「生活困窮者自立促進支援モデル事業」を経て、平成25年12月に「生活困窮者自立支援法」が成立。上越地域においては、(一社)新潟県労働者福祉協議会が新潟県より第3次モデルプロジェクトを受託し、平成24年11月に当センターを開設、支援を開始しました。その後、厚労省のモデル事業を上越市から受託。現在は法律も施行され、本格的な事業実施となっています。

「生活困窮状態」になってしまうきっかけは人それぞれ。突然の病気や不慮の事故、家族の介護等で仕事の長期休暇を余儀なくされたり、解雇や債務等で家計がうまく回せなくなったり。自分ひとりでは解決できない課題に直面している人たちが専門家や行政と連携して支えています。そして、生活立て直しの最終段階が就労支援です。「就職」は社会とのつながりを作るためにも大切な目標。相談者を社会の仕組みに戻すことが、その人の生活の安定のみならず日本社会の安定へとつながります。そのためには受け皿となる地域の事業者様のご協力が不可欠。現在、よりよい就労マッチングのために多くの事業所との連携を進めています。「ふるさと上越で誰もが生き生きと暮らすために」、ぜひ当センターの事業にご理解とご協力をお願いいたします。